

新型コロナウイルス感染症の後遺症

感染者の10%ほどの人に後遺症

現在流行している“オミクロン株”は、以前の“デルタ株”に比べると、軽症で終わることが多く、その分感染に対して気軽さもあるように思われますが、感染力が強いため、短期間で急激に感染拡大しています。患者数が増加し、感染患者の10%程度に何らかの後遺症が起こる事が報告されています。

当院の罹患患者にも罹患後症状を訴える人が見受けられるようになりました。感染時の症状の重症度には関係なく、無症状であっても、その後には罹患後症状が起こり得ます。その病態は、自己免疫や血管内皮障害、微小血栓等、世界中で研究されていますが、まだよく分かっておらず厚労省でも調査研究が始まっています。

症状軽くても生活に支障をきたす場合も

後遺症の代表的症状は、倦怠感、頭痛、睡眠障害、脱毛、臭覚障害、味覚障害、呼吸障害などです。オミクロン株では、臭覚・味覚障害は少ないようですが、著しい筋力低下、腹痛なども報告されています。

また“ブレイン・フォグ”（脳に霧がかかったような状態）という、思考力・集中力の低下、記憶障害、視覚障害を訴え、倦怠感で寝たきりになったりして、日常生活への復帰が困難な人も出てきています。今のところ確立した治療法はありません。

これらの症状は、周りから理解を得られないことも多く、適切な対応が遅れて休職、休学、退学になる場合も出てきています。社会的にも救済されず、孤立する可能性があります。特に子供の、「朝起きられない」、「元気がない」「眠れない」等の症状は、さぼりや一時的な精神的原因ではないこともあり、注意が必要です。無理に頑張ると悪化し、症状が長引いて回復困難になる危険性があります。

症状が持続する場合は、まずかかりつけ医に相談し、必要に応じて更に基幹病院、長崎大学病院にて診療を行う体制を作っています。感染後も体調不良が続いたらご相談下さい。

感染防止対策とワクチン接種は大切

後遺症がおこる可能性を考えると、やはり感染しないことが一番大切です。感染後の療養期間は短縮になりましたが、感染頻度が減少したわけではありません。気を許すことなく今までと変わらない感染対策をしっかりと行ってください。

後遺症の発症は、ワクチン接種を行った人のほうが少ないという確かなデータがあります。

症状軽減・後遺症の予防・感染拡大防止のため可能な人へのワクチン接種をお勧めします。

中村医院 中村 ますみ



◆山田の滝◆



【医心伝心】



いよいよ西九州新幹線が開業します。新幹線かもめが大村の街を疾走し、新しい風を吹き込んでくれるでしょう。我々も医療・福祉を通して大村の魅力度アップのために頑張っていきます。



看護師への復職を考えている方へ
”あなたの笑顔が必要です！”

潜在看護師の復職支援研修を行っています。
大村市医師会にご相談ください。